（別紙4（2））

事業所名　グループホーム八幡の里

作成日：平成 26 年 8 月 22 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	本人主体と考えているが、業務を優先させてしまう場合があり、そのバランスをとることに苦慮している。	ニーズの把握をし、それに沿った業務の流れを作っていく。	本人の思いを汲み取り、我慢をする事なく自分らしく生活していくために必要なことを伝えていってもらえる関係作りをしていく。	12ヶ月
2	28	これまでに行なってきたことに固執してしまい、思いに沿った介護を実践するために新しいことを始めていくことに躊躇してしまう。	職員一人ひとりがレベルアップ・スキルアップしていく。	カンファレンスで話し合う場を設ける。グループホーム内だけの職員関係になってしまわないように、外部の研修などに積極的に参加できる支援を行い、自己研鑽に努めていけるように取り組んでいく。	12ヶ月
3	49	外出する機会は設けているが、特定の人ばかりであったり、気を紛らわすための外出になってしまい、思いをかなえてあげることができていないことがある。	本人の希望・思いに沿った外出を支援する。	思いをかなえることを第一に話し合いを持ち、家族や地域の方の力を借りて実施していく。職員間で業務を連携して空いた時間をつくり、外出を支援する。	12ヶ月
4	36	利用者様と馴染みの関係を築くことにより、スタッフの方もそれに慣れてしまい、利用者様、外部の方の視点から馴れ馴れしすぎる等、不適切な声掛けに感じることのないように客観的な視点で個人個人のコミュニケーションを常に再確認していく必要性がある。	常日頃の介護の中で、ご家族の方や外部の方が傍にいるという設定で常日頃のコミュニケーションの取り方や声掛けを再確認し、個人個人で創意工夫していく。	カンファレンス等で定期的に、日頃の声掛けやコミュニケーションなどの取り方について話し合いの場を設け、情報を共有する。	12ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。